

令和5年度  
事業報告

社会福祉法人 博愛会

ハ一モ二一松葉

## 老人デイサービスセンター事業計画

### ＜事業方針＞

- ①利用者が安心・安全に過ごせるような環境をつくる。
- ②個別ケアを推進し、個々の利用者に適したケアを実施する。
- ③質の高いサービスを提供する。自立支援、介護予防を支援する体制づくりに努める。
- ④PDCA をまわしトライアンドエラーで挑戦する。
- ⑤福祉ニーズの変化に対応していく。
- ⑥地域貢献を行い、地域で必要とされる社会資源となる。

### ＜重点的取り組み＞

#### （1）利用者処遇

##### ①個別ケアの提供

###### ＜目標＞

利用者の希望やニーズ、家族の意向、身体状況を把握する。生活相談員または介護職員がICF（国際生活機能分類）に基づき評価し、ケアプランに沿いながら、ご利用者一人ひとりに合ったサービスを提供する。利用者の状態変化を定期的に評価し、状態に見合ったサービスへ変えていく。「活動」や「参加」を促せるようなプログラムにしていく。

###### ＜結果＞

- ・個別ケアを実践するために介護職員が、通所介護計画書の情報から、利用者の体の状態や好みを細かく把握することで、個別ケアを提供する意識が向上した。
- ・新型コロナウイルスの5類に移行したことで感染に留意しながらも、外出プログラムなどはコロナ前と同様しながら行った。
- ・利用者から人気があるプログラムやグループ活動の提供に努め、おやつ作りの再開や手工芸のクオリティー向上でご利用者の参加につなげた。

##### ②自立支援を促す介助

###### ＜目標＞

利用者の身体機能を評価し、過介助にならないような介助を行う。必要な方へ必要な介助を心がけ、家族の介護負担の軽減を目指す。

###### ＜結果＞

- ・個別ケアを実践するために介護職員が、通所介護計画書の情報やケアカンファレンスから、利用者の体の状態や好みを細かく把握することで、個別ケアを提供する意識が向上した。
- ・新型コロナウイルスの5類移行にともない、外出プログラム（花見や紅葉ツアー）など、感染予防に配慮しながらもコロナ以前の状態に近づけるよう実施し、ご利用者も喜ばれていた。

##### ③介護予防体操

###### ＜目標＞

利用者に合わせた運動プログラムを基本として、柔軟性と筋力向上トレーニング、口腔体操

を中心とした運動プログラムを実施する。プログラムにラジオ体操第一を必ず取り入れ、ある程度一定量の運動が行えるよう口腔体操も含め取り組んでいく。

#### 《結果》

- ・午前中を中心に運動プログラムを提供し、ラジオ体操を取り入れ、ある程度一定量の運動が行えるよう努めた。
- ・介護職員によって体操の提供時間がまばらだった為、介護予防体操のマニュアルを作成し40分間は必ず実施するよう意識統一して対応した。
- ・健康運動指導士を講師にお招きし、令和6年1月に介護職員や看護師を対象に介護予防体操研修を内部研修で実施し、介護予防体操の基本や、歌の体操などをご利用者に提供できるよう努めた。

### ④レクリエーション

#### 《目標》

##### I) 選択プログラム

それぞれの興味・関心に近いレクリエーションを利用者が自ら選択し、参加できるよう選択プログラムを行う。職員はご利用者の興味・関心について把握できるように努め、楽しんで参加していただけるよう支援する。選択プログラムの内容については適宜見直しと検討をし、内容の更新、追加を行っていく。

#### 《結果》

- ・ご利用者の個々の興味・関心に近いレクリエーションを自己決定していただき、職員はご利用者の興味・関心を把握しながら提供し参加いただいた。
- ・麻雀や塗り絵など、選択しながら活動に参加できるよう
- ・利用者満足度調査におけるレクリエーションの62.9%と低かったことから、集団プログラムについても、おやつ作りや手工芸など内容を見直し、満足度の向上に努めた。

##### II) 季節行事・外出活動等

#### 《目標》

ご利用者が1年間継続して楽しめるように季節感にちなんだ行事を定期的に行う。

#### 《結果》

実施した季節行事

実施日	内容	参加人数
4月1～3日 (3日間)	お花見弁当	1日平均25名 延74名
5月2～4日 (3日間)	こいのぼり見学(上谷戸大橋)	1日平均25名 延73名
6月8～10日 (3日間)	紫陽花バスツアー(川崎市多摩区妙楽寺)	1日平均25名 延74名
7月7日	七夕流しそうめん	12名

8月21・22・24日（3日間）	デイサービス縁日	1日平均26名 延78名
9月18日	敬老会（職員によるとじょうすくいの披露、利用者全員にお茶のプレゼントを配布）	28名
10月13日	秋の味覚祭（昼食に秋刀魚と芋煮汁を提供）	30名
11月13日	焼き芋会	29名
11月16～18日（3日間）	紅葉バスツアー（多摩市メタセコイア通り・桜ヶ丘記念公園）	1日平均25名 延75名
12月21日	餅つき（お汁粉の提供）	
12月21～25日（3日間）	クリスマス会（ビンゴ大会、職員によるマツケンサンバを披露、ボラによるクリスマスコンサートとフラダンス、ご利用者全員にプレゼントで靴下を配布）	1日平均30名 延91名
1月4～10日（6日間）	初詣（穴澤天神社）	1日平均11名 延68名
2月23～25日（3日間）	梅見ツアー（稲城市坂浜小田良地区）	1日平均21名 延62名
3月9日	第二文化センター祭作品展示	計4名

#### 《目標》

- ・ 外食ツアー（1日6名程度 第3週6日間×年4回）  
年4回3か月に1度、6日間をかけ1日6名程度のご利用者と職員2名、運転手1名の少人数で行っていく。
- ・ 地元のおやつ提供（毎月1回）
- ・ クレープ移動販売
- ・ 稲城市民祭作品展への出展

#### 《結果》

- ・ 外出ツアーに関しては、新型コロナウイルス5類移行後も再開できず。利用者からの要望も多いため令和6年度からの再開を目指すこととした。
- ・ 毎月、稲城市のお店で購入したご当地おやつを提供し、ご利用者の満足度を高めた。
- ・ クレープ移動販売も毎月実施し、利用者のおやつとしてできたてのクレープを提供した。
- ・ 稲城市民祭作品展への出展については、準備が間に合わなかったことから今年度は見送ることとした。

#### 《目標》

#### Ⅲ) 足浴サービス

足浴は多い日で1日5名ほど昼休みに実施している。昼休みは職員が手薄になる時間で利用者の見守りも不十分になる為セラミック足浴機を導入し見守りの強化と利用者の満足度を上

げる。

#### 《結果》

令和 4 年度にセラミック足浴機を導入したが、令和 5 年度は 1 日平均 5.2 名のご利用者に施行し高い満足を得ることができ、衛生的かつ職員の業務負担の軽減にもつながった。

### ⑤送迎サービス

#### 《目標》

朝と帰りの運転手ミーティングを行い、当日の運行の確認と介護職員を交えたミーティングで利用者情報を共有して、きめ細やかで安心・安全なサービスを提供する。スポット利用等の臨時的な受け入れに柔軟に対応する。運転手との情報共有のため運転手会議を隔月で実施する。

#### 《結果》

- ・運転手とのミーティングを毎朝開催し、当日の運行状況やご利用者の出欠を確認することで安心・安全な運転サービスの提供に努めた。
- ・令和 4 年度は車両事故 7 件（自損含む）あり、安全管理体制の強化し防止に努めたが、令和 5 年度も車両の事故 7 件とヒヤリハット 1 件と多かった。
- ・運転手会議を令和 5 年 6 月、9 月、12 月、令和 6 年 3 月の計 4 回実施し、運転手との情報共有や安全運転への啓発に努めた。
- ・東京都の助成金を活用し、車内置き去り防止装置を設置し、利用者の安全対策を講じた。
- ・利用者満足度調査では、送迎に関する満足度（安全性、時刻）は 72.2%であった。

### ⑥食事サービス

#### 《目標》

食事サービスは、利用者にとって楽しみなサービスの一つであり、競合デイと比較されるサービスである。毎日の検食でスタッフの意見を吸い上げ、給食委託業者との月 1 回の食事会議で振り返りと今後について話し合う。

#### 《結果》

- ・毎月 1 回の食事会議に正職員が出席、もしくはご利用者からの意見を集約し提案することで、食事サービスの改善に努めた。
- ・食材料費の物価高騰の煽りを受けたが、イベント食の実施など食事サービスの質の維持に努めた。
- ・利用者満足度調査で、ご利用者の食事のメニューとおやつについての満足度は 59.2%であった。
- ・食事サービスについては、盛り付けが以前は高評価であったが、とても良い評価が 25.9%と低下したことから近々の課題とし改善に努めている。

#### ＜重点的取り組み＞

##### （2）運営

##### ①家族相談会の実施（年 1 回）

#### 《目標》

ご家族が抱えている介護のお悩みや、デイサービスへの要望などを対面または非対面（ZOOMなど）でお受けする。（対面で行うかどうかは感染状況を鑑みて判断する。）

#### 《結果》

- ・令和6年3月2日（土）に4年振りとなる家族懇談会を対面で開催し、10名のご家族にご参加いただけた。
- ・デイサービスの運営状況報告や利用状況が分かるように活動状況の動画の上映会等を行い、職員と家族との意見交換会を実施し、有意義な会となった。

### ②職員会議

#### 《目標》

- ・法人運営会議

四半期に1回及び必要時に臨時で開催し、法人全体の課題やその解決策を管理層で協議し方針を決定する。部門ごとに定めた目標値への達成度について報告し合い、共有し、解決策を協議する。感染症や自然災害等の緊急時については、臨時で開催し、各部門の行動について共有し決定する。協議内容は各部門で周知し、方針に従って各部門での行動につなげていく。

- ・デイサービス内職員会議

デイサービス内職員全体会議（デイミーティング）を月1回実施し、情報共有する。

#### 《結果》

- ・法人運営会議に3か月に1度正職員が参加し、事業目標に沿って運営報告を行い、課題である営業戦略やサービスの向上に努めた。
- ・職員会議や職員全体会議に参加し、正職員や非常勤職員共に施設内研修や運営や経営などを周知し、確認、協議を行った。
- ・毎月第2土曜日に基本全職員参加のデイミーティングを実施し、管理者が運営や経営状況の報告を行い、透明性のある情報提供や改善に向けたマネージメントを行った。  
また、利用者の情報の共有やヒヤリハット・事故報告の検証や、ケーススタディを通じて利用者への対応方法の統一を図った。

### ③人材育成・サービスの質の均一化

#### 《目標》

プリセプター制度で新人看護・介護職員（プリセプティ）1人に対して決められた経験のある先輩看護・介護職員（プリセプター）がマンツーマン（同じ業務を一緒に行う）で、ある一定期間新人研修を担当する。新人のペースに合わせて、新人自らが主体的に学習するようプリセプターが関わる。ご利用者の看護・ケアを新人看護・介護職員とともに提供しながら、仕事を通じてアセスメント、介護技術、対人関係、医療や介護サービスを提供する仕組み、看護・介護職としての自己管理、就業諸規則など広範囲にわたって手本を示し、OJT 指導計画に沿って指導を行っていく。

#### 《結果》

- ・新規採用職員には正職員各々が担当した入職時オリエンテーション及び入職時研修を実施し、職場や業務に円滑に馴染めるような仕組みを構築した。
- ・新人職員から随時相談しやすい環境を整え、育成に努めた。
- ・プリセプター制度を実施していたが、現在は中堅職員によるエルダー制度を活用しOJTによる育成方法で指導を行った。

#### 《目標》

- ・外部・内部研修

職員のサービスの質の向上を目的に年に1度以上外部研修に参加する。介護技術や対人援助技術等デイサービスで必要なスキルを習得する。

#### 《結果》

- ・コロナウィルス5類移行後は、介護主任が東京都主催の権利擁護（虐待防止）の外部研修に参加したが、その他は積極的な派遣までには至らなかった。

#### 《目標》

- ・伝達講習

職員のサービスの質の向上のため、外部研修を受けた場合、研修内容をデイミーティング内で他の職員へ伝達講習し、多職種の職員間で情報共有する。新型コロナウイルス感染状況により研修の受講を実施していく。ただし、職員の負担のないように業務時間内で実施できるようにする。

#### 《結果》

- ・伝達講習を始め、利用者のケア方法などの統一など必要な際は、デイミーティング内で研修を実施し、多職種の職員間でケアの統一を図った。

#### 《目標》

- ・資格取得支援

常勤職員・非常勤職員にかかわらず、意欲がある職員については、介護福祉士や介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得支援を積極的に行う。

#### 《結果》

- ・今年度は対象者がいないため、資格取得支援は行わなかった。

### ④組織

#### 《目標》

- ・非常勤職員の業務の責任の明確化

常勤職員が非常勤職員へ依頼している業務に対して、きめ細やかなフォローを行う。非常勤職員は依頼されている業務の執行責任はあるが、業務の結果責任は常勤職員にあることを明確にする。

#### 《結果》

- ・正職員の意識やマネジメント力の向上に努め、非常勤職員への指導や教育、フォローを行い、信頼度を高めることに尽力した。
- ・社会保険に加入している非常勤については、おやつ作りの企画や物品の在庫管理、誕生日の色紙作りなど役割を分担し、正職員のフォローを行う体制を構築した。

#### 《目標》

- ・働きやすい職場づくり

どんな立場の職員でも発言できる心理的安全性がある風土にする。職員の誰もがやりがいがあり、長く勤めたいと思える職員への配慮がある職場環境にする。

#### 《結果》

- ・働きやすい福祉の職場宣言事業所として、職員の意見や提案を尊重し、労働基準法に則り、処遇改善の充実など、風通しの良い職場環境の構築と離職防止につながるよう努めた。
- ・介護記録システムを導入し、タブレットやスマホでの記録による業務負担の軽減や情報共有を、ICT化、IOT化により進めた。

#### 《目標》

- ・チームアプローチ

職員全員で情報共有ができて、職員同士でフォローしあえるチームで事業の目標を達成できるアプローチを目指す。

#### 《結果》

- ・利用者のケアについて、多職種間で情報共有、連携が取れるようミーティングやカンファレンスで協議し、統一したアプローチが実践できるよう努めた。
- ・LINE WORKS を活用し、デイサービスの職員間でご利用者の情報や対応について、タイムリーに情報共有し、周知に努めた。

### ⑤新しい試みの検討

#### 《目標》

新型コロナウイルス感染症拡大や福祉ニーズの変化による介護保険法改正等で外部環境の変化の影響を運営面で大きく受ける。外部環境の変化に伴って運営は変化していく必要があるため、新しい試みを絶えず検討していく。

#### 《結果》

- ・新型コロナウイルス感染や物価高による影響を考慮し、稼働率の向上や経営改善を意識し、運営やサービス提供に影響がないように職員全体で努めていった。
- ・令和6年度の介護保険改正を踏まえ、BCPの策定や虐待防止、認知症ケアに関する研修を実施し、また報酬改正や処遇改善についても職員に周知し、次年度からの安定した運営・経営につながるよう対応した。

### ⑥ボランティアの受け入れ



## 《目標》

令和5年2月現在、押し花・生け花・ピアノ音楽会のボランティアの受け入れを再開している。令和5年度より、今まで受け入れを休止していたボランティアの受け入れを再開する予定。

## 《結果》

- ・新型コロナウイルス5類移行後は、ボランティアの受け入れをコロナ前と同様に行った。
- ・介護周辺業務（お茶出しやレクレーション補助等）についても、稲城市社会福祉協議会のボランティアセンターと連携し、書道の先生やお茶出しについて、新たなボランティアの受け入れを行った。

## ⑦省エネの励行

### 《目標》

電気・水道・ガスの使用について省エネを常に意識し、無駄のないように心がけることでコスト削減につなげる。

### 《結果》

- ・物価高やガソリン代の高騰など、運営、経営に大きな影響を与えたことから、稼働率の向上や送迎の適正化などに努めた。
- ・次年度の食事代など値上げを検討し、運営規程を改正後、行政への届出や利用者、家族への

## ⑧地域貢献

### 《目標》

- ・地域貢献事業であるやのくち子ども食堂やフードバンクへ可能な範囲で関わっていく。
- ・稲城市民祭への展示で作品を通じた地域交流を行っていく。
- ・小学生や保育園児と利用者との交流会で多世代交流を行い、将来福祉に関心がもてる人材を地域の中で育てる。

### 《結果》

- ・子ども食堂に、デイサービスの職員も参加し地域貢献にご入居者と一緒に地域の子どものために尽力いただいた。
- ・中学生の職場体験や看護実習生の受け入れなどを積極的に行い、
- ・第二文化センター祭りへの作品出展など地域行事にも出来る限り参加を行った。

## ⑨年間利用者数の目標値

### 《目標》

- ・適正な運営・経営を行い、利用者のサービスを向上させるためには、一定の利用者数の確保が必要である。そのため、以下の目標値を設定する。

### 《結果》

表23 年間利用者数の目標値と実績

	1日平均延利用者数	年間延利用者数	備考
目標値	28.0名	8,596名	※ 年間営業日数は307日で 試算
実績	27.3名	8,404名	※ 年間営業日数は308日
差	△0.7名	△192名	

- 令和5年度目標値の年間延利用者数 8,596名に対して、実績値は192名少ない8,404名であった。
- 1日平均延利用者数 27.3名に対して、実績値は0.7名少ない27.3名であった。
- 令和4年度の1日平均延利用者数 27.3名と令和5年度は同数であった

表2.4 令和5年度利用状況

(令和6年3月31日現在)

__月	実利用者数	延利用者数	平均利用者数	平均介護度	新規利用者 (介護度変更 含む)	終了利用者 (介護度変更 含む)
4	82	662	26.5	1.5	2	2
5	81	696	25.8	1.5	2	4
6	83	683	26.3	1.5	4	6
7	86	694	26.7	1.5	3	2
8	88	721	26.7	1.5	7	1
9	80	664	25.5	1.5	4	1
10	83	686	26.4	1.6	2	5
11	86	726	27.9	1.5	6	2
12	88	682	28.4	1.6	2	2
1	90	703	29.3	1.6	4	2
2	93	724	29.0	1.6	6	0
3	94	763	29.3	1.6	3	4
合計	-	8,404	27.3	1.5	45	31